

イベント開催報告

2025年3月14日（金）に2024年度第3回FD教員セミナー「授業における生成AIツールの活用と対策」をオンラインにて開催しました。本セミナーでは、まず今年度実施した生成AIツールの利用状況に関する教員・学生対象調査について、教育開発・学習支援センターの平野利幸データ活用推進ユニット・リーダーより報告がありました。その後、生成AIツールを授業で活用したり、評価にあたって対策されている理工学部の堤瑛美子専任講師、国際文化学部のル・ルー清野ブレンダン准教授に具体的な方法をご紹介いただきました。

質疑応答では、生成AIツールを使わずに課題を提出してもらう場合の方法等について、議論を深めることができました。
 <参加者数：176名（教員 165名／博士後期課程学生9名／その他2名）>

講演内容

◆堤瑛美子 理工学部専任講師

- ・教育システム情報学会・生成AIシンポジウムでの講演で論じられていた内容（以下等）も踏まえて授業を実施している。
 * 生成AIの使い方や問題点、失敗例をきちんと示していく必要がある。
 * 生成AIを課題に使う意味を理解しているかどうかで学習効果が変わるため、学習活動の目的の設定が重要である。
- ・ChatGPTの仕組みや数字のミスが多いこと等を説明したうえで学生の利用を認めている（使用した場合は申告させている）。
- ・コピーはNGだが生成AIの利用を可としているレポートでは、酷似したレポートがあれば減点すると明言している。
- ・生成AIを使うことは避けられないため、生成AIが出した解答と、自分の考えをまとめたレポートを両方提出させる課題を検討している。

◆ル・ルー 清野 ブレンダン 国際文化学部准教授

- ・史資料を配布しグループワークで質問項目に答えさせ、実は質問項目が生成AIが生み出した誤ったものであったことに気づかせることで、生成AIは便利であるが、堂々と我々を欺くものでもあることを理解してもらった。
- ・資料に基づいて地図と凡例を作成させる課題を出した。生成AIツールで作成させると誤りだらけのものが出力されるため、現時点では図を描かせるような課題は生成AIに頼れず、有効かもしれない。
- ・いくつかの翻訳AIを比較しながら、結果を是正・修正し、よりよい翻訳を生み出す授業を行い、試験でも翻訳AIの誤りを指摘させる出題をした。
- ・試験では、生成AIを使えないよう必ず教室で書かせている。語学なので話している動画を提出させるのもいいかもしれない。
- ・生成AIが本当に必要なのか、環境・経済的、倫理的、哲学・理念的な課題があることも共有し、学生とも議論していきたい。

参加者アンケートより

- ◆ 理系・文系授業における利用という、両面からの講演を拝聴することができ、学ぶところの多い、誠に有益なセミナーでした。講演の先生方から、課題の出し方や採点時の工夫を具体的に提供してくださり、大変ありがたく存じます。ただ、学生の利用に関わる問題については明快な「正解」がなく、方策に関してまだまだ悩み続けなければならないこともよく認識できました。またセミナー冒頭においては、本学における生成AIの学生利用状況・意識のほか、初等・中等教育における扱いについても教えていただき、ありがたかったです。
- ◆ 例年、初年次教育にてレポートの書き方を教えておりますが、これまで「剽窃」についてはかなり強い注意喚起を行う一方、生成AIについては一般的な説明しかしておりませんでした。2025年度の授業から改善いたしたいと存じます。
- ◆ 本務校でも対策をすすめつつ必ずしも行き届かないなかで、登壇の先生方が模索しつつ試行を行っておられることをお聞きして、あちこちでそれを繰り返しつつ少しずつ先を見ていくほかはないのだなと感じました。にわかには総合的な解決に到ることはむずかしいでしょうが、登壇のお二方の実験やトライアルも参考になりました。
- ◆ 英語Writingに携わるAIの使用・それにまつわっての評価方法に頭を痛めておりました。ただ一方的に使用制限を告知するだけでなく、もっとOPENに教室でAIについてDISCUSSする必要があり、AIの使用方法についても教室で取り上げていく必要があると実感いたしました。非常にためになりました。ありがとうございました。
- ◆ アンケート結果の紹介、人工知能が専門分野である先生からのお話、実践事例のお話と、説得力のある構成でした。最後のル・ルー先生がご自身のご意見も含めて、今後議論すべき点を多方面のメディアや論文等からご紹介してくださいました。そこがとても参考になり、印象に残っています。
- ◆ 登壇者の先生方はいずれも他分野の人間にも分かりやすい具体例をたくさん挙げてくださったことで、理解を深めることができました。セミナー全体として質問しやすい空気があったことも大変よかったです。

【お問い合わせ】 教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

Webサイト： <https://www.hoseikyoiku.jp/lf/>



主催：教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

2024年度第3回FD教員セミナー
授業における生成AIツールの活用と対策

今年度内で実施した生成AIツールの利用に関するアンケートの結果を報告するとともに、実際に授業で生成AIツールを活用されている先生にその具体的な方法についてお話しいただきます。多くの学生が利用している生成AIツールを理解し、ご一読に活用方法や対策を考へませんが、セミナー内では質疑応答の時間も認めますので、奮ってご参加ください。

日時 2025年3月14日（金） 17:30～19:00

開催方法 Zoomによるオンライン開催 ※録画による後日配信は行いません

対象 本学教員・博士後期課程学生

定員 なし

講演者

堤 瑛美子 理工学部専任講師
 【主な担当科目】 確率統計、集合知能
 【専門分野・研究テーマ】 機械学習、深層学習

ル・ルー 清野ブレンダン 国際文化学部准教授
 【主な担当科目】 フランス語、フランス語圏の文化
 【専門分野・研究テーマ】 日仏関係史

参加申込方法

下記のQRコード、またはURLにアクセスし、指定の申込フォームにてお申込みください。
 URL: <https://short.hosei.ac.jp/6vnp5>

※ログインの際に使用するメールアドレスは、ご自身の法政大学のメールアドレス(@hosei.ac.jp)をご利用ください。
 ※個人情報は厳密に管理し、本イベント以外の目的で提供いたしません。

申込締切 3月12日（水）17:00

法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター
 TEL：03-3264-4268 E-mail：kyoiku@hosei.ac.jp

法政大学 HOSEI University

